

# 初の国際会議を終えて

工学府電気電子工学専攻M1 橋口 拓斗



## はじめに

2014年10月6日～10月8日にアメリカのボストンにて開催された“The 4th International Power Supply on Chip Workshop”へ参加し、電源の究極の小型化を目指したPower SoC (Supply on Chip) を実現するための新規の制御方法を提案した論文を発表しました。本会議はIEEE POWER ELECTRONICS SOCIETY主催の学会であり、Power SoC関連に特化した会議であり、本研究の成果をアピールするには最も適した会議であったため、私は本会議への参加を目標としておりました。

## 学会に関して

初の国際会議が海外での発表となり、様々な不安を抱えながらの参加となつてしまいました。飛行機から降りるともうそこでは日本語は通じず、英語を使つてのコミュニケーションが必要になりました。身振り手振りを駆使して、乏しい英語力を補いながら、どうにか会場までたどり着くことができました。学会の参加者に日本人はほとんどおらず、多くが企業や大学の先生方であつたため非常に緊張しましたが、電源の最新の技術や研究に触れることができ、とても貴重で有意義な体験をする事ができました。ポスター発表では自身の英語力の乏しさから、内容がうまく伝えられないことや、質問の意味を理解できないことが多々あり、自分の英語力の低さと英語力の重要性を改めて痛感いたしました。また、海外の学生はとても積極的であり、

自分も見習わないといけないと思つた。今回の学会発表を通して、自分には英語力と積極性が足りないことを感じ、とても悔しい思いをしました。次回の国際会議では自分の満足の行く内容となるように、これを克服して臨みたいと思います。



学会会場の NORTH EASTERN UNIVERSITY

## ボストン

ボストンはアメリカの中でも歴史にゆかりが深い街です。ヨーロッパ風のレンガ造りの建築と新しい町並みが美しく調和しており、沢山の観光名所があります。気候は北海道と同じくらいであり、食べ物は海産物

がとても美味しく、ロブスターやクラムチャウダーが有名です。町並みがとても美しく、歩いていて飽きませんでした。公私ともに充実した時間を過ごすことができました。



観光名所のマサチューセッツ州会議事堂

## 謝辞

今回の国際会議への参加にあたり、経済面での奨学金を援助していただいた明専会、論文執筆および発表練習に関してご指導いただいた松本聡教授に厚くお礼申し上げます。

(平成26年12月記)